

正月休みで失っていた日常の暮らしを取り戻そうと躍起になっているうちに、早くも節分がやって来ました。鬼を退治すると立春がやって来て、ふと日が長くなっていることを実感し…寒さはまだ続いているけれど、春がその足音を響かせて暖かな陽気を運び始めた今日この頃です。

後藤健太より

不摂生が祟って糖尿病を発症したのが28歳の時でした。出張先の仙台で緊急入院。その時、血糖値は650を超えていました。翌日、生まれ育った茨城県鹿嶋市の病院へ転院。1ヶ月間の入院治療生活を余儀なくされましたが、この入院を機に食生活を見直す中で衝撃の事実を知ることになります。

コンサルタントになる前に10年程料理人として腕を振っていました。当時自信を持って

料理に使っていた食材が安心・安全とは言えないものを知ったのです。安全ではない食材で料理を作り、お客様に提供していた事実が愕然としました。それから、安心で安全な食材はどこから入手すれば良いのか探しました。そしてそれは思いもかけない所にあることを知ります。生まれ育った茨城県の鹿嶋にその農産物はあったのです。それが自然栽培農家「鹿嶋パラダイス」(株式会社オールフィールズ)の唐澤秀

氏との出会いです。鹿嶋パラダイスでは、農薬はもちろん肥料も堆肥も使用せず自然栽培で野菜や米を育てています。しかし、唐澤氏は安心・安全だけを求めたストイックな自然栽培農家ではなく、うまいものを食べたいが為に自然栽培を始めた人。うまいものを食べるために料理人になった私と同じ思いでした。以来10年の付き合い。「安心・安全で、しかもうまい」を共に追求し続けています。(太)

Paradise Beerのご紹介

後藤がプロデューサーを務めている「鹿嶋パラダイス」は、衣食住に加えてカ(=エネルギー)に至るまで、自家製・お手製を目指す「百姓」を地で行くユニークな農家です。今回、同農家が運営する茨城県初のマイクロブリュワリー“Paradise Beer Factory”が新作ビール「弥栄(IYASAKA)」を醸造するにあたって、クラウドファンディングを実施することになりました。仕込水は鹿島神宮内にある御手洗池に縄文の古より湧き続ける御神水を使っており、原料となる麦とホップは自家製で賄う他、市内の各ご家庭で育てられたホップも使用されます。神宮の御神水に地場産の麦とホップを使ったビール、正に真の「地ビール」が誕生します。当プロジェクトは地元の銀行も関わっており、パラダイスビアが鹿嶋市のふるさと納税の商品としても採用されていることから、地域全体で取り組む地域おこし事業としても注目を集めています。詳しくは次号でご案内します。(太)

ようこそ太仁亭 (tajin - tei) へ！

太仁亭の今年初めてのおもてなしは、お豆ちゃんの誕生会でした。家族を招いたお祝いの会なので、一品持ち寄りで開催。持ち寄りとは今後のメニューの参考にもなりますし、持ち寄った料理の話題で盛り上がるのでとても楽しいものです。

さて、お豆ちゃんは未年の肉(29)の日生まれなので、誕生日は毎年ラム肉でお祝いしています。お祝いで使うラム肉は、従妹が嫁いだ信州遠山郷「肉の鈴木屋」のラムチョップ。注文したお肉が届くと若旦那手書きの「今月のお便り」が同封されており、そこには遠山郷や山肉への思いが綴られています。そのお便りを読んで、遠山郷へ思いを馳せつつ食す肉の美味しさはまた格別なもの。

食材にも料理にも沢山の物語があると感じます。消費者である私達は、日常の食卓の上

がる全ての食材について、少しでも多く生産者の方々の思いを聞きたいと常々思っています。(仁)

3歳の誕生会Menu

- * ラムチョップの和風ソース焼き
(ジャガイモ添え)
- * 三五八鶏の和風ピザ
(ラム肉のソースで)
- * 大根のそぼろ煮
- * さつまいもスープ
- * おつまみ田作り
- * 米粉のシフォンケーキ
(ヨーグルトソース&紅ほっぺ添え)

持ち寄りのお料理

- * 蓮根バーグ
- * 三種の厚焼き玉子
- * ごぼうと人参ときゅうりのサラダ

今月のお豆ちゃん

お陰様で、我らがお豆ちゃんはこの1月に3歳の誕生日を迎えることができました。1歳の誕生日も2歳の誕生日も、その日を迎える直前にウィルス性の胃腸炎や、ヒトメタニューモウィルスに感染するなど、誕生会を延期したり病み上がりのままお祝いしたりして、大変だったなぁという思いがあります。今年に入って世間で猛威を振っているインフルエンザは保育園でも流行していましたが、感染することなく家族全員で元気にお祝いできたことに心から感謝します。

さて、お豆ちゃんが初めて選んだお花はスイートピー。ママ科のお花でした(笑)。(仁)



鬼退治

節分の豆まきの日を毎年間違えます。立春を迎えた日を節分だと思いついてしまうのです。毎年福豆を用意して、「よし明日は鬼退治。豆まきするよー！」と号令を掛け、番頭さん(=社長)に鬼の面を要請し、さて明日の準備は万端だと満足して床に就く。けれど翌日になって各方面から入ってくる情報により「昨日が節分で豆まき」と漸く気付くのです…さて、既に立春ではありましたが、今年も鬼を追い払いました。福を沢山取り込めるよう精進致します。(仁)

編集者：後藤紅仁子

kuniko-goto@ccore.co.jp

発行日：2018.2.5 立春(りっしゅん)

東風解凍(はるかぜこおりをとく)

発行所：株式会社コンセプト・コア

☎192-0373

八王子市上柚木 2-63-10

TEL/FAX 042-697-7473

http://ccore.co.jp/

過去号：ウェブサイト↑からご覧頂けます。